

広域避難者支援連絡会 in 東京 2022 年度事業報告書

2023 年 6 月

広域避難者支援連絡会 in 東京

1 連絡会の概要

- (1) 名 称 広域避難者支援連絡会 in 東京
- (2) 設立日 2013 年 5 月 22 日
- (3) 事務局 広域避難者支援連絡会 in 東京 事務局
東京ボランティア・市民活動センター 内
〒162-0823 新宿区神楽河岸 1-1 TEL 03-3235-1171 FAX 03-3235-0050
ホームページ <http://kouikihinan-tokyo.jimdo.com/>
メール kouikihinan@tvac.or.jp
- (4) 参加団体 14 団体。団体名は下記の通り（五十音順）。
荒川区社会福祉協議会
いたばし総合ボランティアセンター
AAR Japan[難民を助ける会]
こどもプロジェクト
金光教首都圏災害ボランティア支援機構
災害復興まちづくり支援機構
こくみん共済 coop<全労済>
中央労働金庫
東京足湯プロジェクト
東京災害ボランティアネットワーク
東京都生活協同組合連合会
東京ボランティア・市民活動センター
東京労働者福祉協議会
連合東京

2 連絡会の事業報告

(1) 総会の開催

- ・総会を開催し、2021 年度事業報告・決算、2022 年度事業計画及び収支予算等について審議した。

(2) 定例会の開催

- ・連絡会の構成団体が集まり、情報交換や企画検討を行う定例会を開催した。

<実績>

第1回 4/14、第2回 5/12、第3回 6/9、第4回 7/14、第5回 8/18、第6回 9/8、第7回 10/13、第8回 11/10、第9回 12/8、第10回 1/12、第11回 2/9、第12回 3/9

(3) 当事者団体との協働事業

① 広域交流事業

- ・新型コロナウイルス感染拡大防止のため、毎年実施している「避難者と支援者によるふれあいフェスティバル」は中止となった。そのため、代替の交流会として、各地域のサロンをつなぐオンライン交流会を実施した。

※しかし、これまで企画する際に開催していた当事者団体との実行委員会は設けることができず、クイズを当事者団体に考えていただくなど限定的な企画への関わりとなった。

<概要>

○第1回オンライン広域避難交流会

- ・日時：2022年11月19日（土）10時30分～12時00分
- ・場所：各サロンおよびオンライン（Zoom）
- ・参加団体：江東区避難者サロン、にんじんカフェ、ほっと岡山、愛知県被災者支援センター、クローバーなります、えひめ311、荒川ふるさとサロン、かながわ東北・ふるさとつなぐ会
- ・内容：音楽鑑賞、各地の交流会の紹介、クイズ大会
- ・参加者：212名（うち、避難者90名、支援者・連絡会122名）

○第2回オンライン広域避難交流会

- ・日時：2023年3月4日（土）10時30分～12時00分
- ・場所：各サロンおよびオンライン（Zoom）
- ・参加団体：江東区避難者サロン、ほっと岡山、クローバーなります、来らっせしらすぎ、かながわ東北・ふるさとつなぐ会、むさしのスマイル
- ・内容：音楽鑑賞、各地の交流会の紹介、クイズ大会
- ・参加者：74名（うち、避難者31名、支援者・連絡会43名）

○トートバッグの作成

今回の交流会では配付できなかったが、今後の当事者協働事業等で避難者や支援者に配付するためのノベルティとして、トートバッグを600個作成した。

(4) 広域避難者支援ミーティング in 東京の開催

- ・避難者支援団体や避難当事者団体の交流、連携を促すための情報交換の場を提供し、様々な支援手法・アイデアの共有を通して、避難者支援団体によるさらなる支援の充実・工夫を図るため、支援団体を対象としたオープンミーティングを実施した。

○第23回広域避難者支援ミーティング in 東京

- ・日時：2022年10月19日（水）10時00分～12時15分
- ・場所：ハイブリッド開催（飯田橋セントラルプラザ会議室／Zoom）
- ・内容：①プログラム1：各都県からの避難者支援に関する現状や制度の情報提供
②プログラム2：ディスカッション「避難者への戸別訪問の取組みについて」

- ・参加者：43 団体 63 名（会場 20 名、オンライン 43 名）

（５）避難者・避難者支援についての市民への周知

○避難者のことや避難者支援を知っていただくための動画の作成を行った。

<作成した動画>

- ・避難当事者団体「クローバーなります」インタビュー動画
- ・岩手県からの避難者 武田さんインタビュー動画 ※撮影（公開は次年度）
- ・宮城県からの避難者 芳賀さんインタビュー動画 ※撮影（公開は次年度）

○また、広域避難者支援連絡会 in 東京の Youtube チャンネルに上記動画を公開した。

（６）情報発信

①メルマガの配信

- ・避難者支援団体の取組み情報を収集し、配信した。

<実績>

- ・配信回数：12 回
- ・内容：地域でのサロン情報、法律相談、就職相談会情報、イベント情報、原発賠償説明会の情報、都営住宅募集情報等
- ・メルマガ登録アドレス数：2022 年度末：132 人（2013 年度末：43、2014 年度：86、2015 年度末：95、2016 年度末：99、2017 年度末：106、2018 年度末：118、2019 年度末：117、2020 年度末：121、2021 年度末：128）

②ホームページでの情報発信

- ホームページでの情報発信を行った。

（７）勉強会の開催

- ・勉強会は実施できなかった。

（８）ネットワーク作り

①避難当事者団体とのバディ制の実施

- ・各避難当事者団体につき、連絡会の構成団体が情報収集等を担当するバディ制を実施した。

②全国・他県の支援団体とのネットワーク強化

- ・全国域のミーティングや研修の機会がなく、参加はなかった。

③東京都内の支援団体連絡会への参加

- ・今後の避難者への関わりを検討するため、都内の様々な情報共有会議等への参加を通して、行政や民間団体の支援情報の収集ならびに情報提供を行った。

<実績>

- ・東京都社会福祉協議会 孤立化防止事業連絡会への参加
- ・都内避難者相談拠点情報共有会議への参加

④講師対応

- ・今年度、講師対応はなかった。

以上